

「空堀川流域広域雨水整備検討協議会」第1回協議会

1 日時・場所

平成29年8月9日（水） 14時から15時まで
都庁第二本庁舎 20階 20C 会議室

2 出席者

別紙出席者名簿のとおり

3 議題

- (1) 空堀川流域広域雨水整備検討協議会設置要綱（案）について
- (2) 検討内容について
- (3) 今後のスケジュールについて

4 配布資料

議事次第

資料1 空堀川流域広域雨水整備検討協議会設置要綱（案）

資料2 検討内容について

資料3 今後のスケジュールについて

5 議事録

[委員紹介]

[座長挨拶]

[空堀川流域広域雨水整備検討協議会設置要綱（案）について事務局より説明（資料1）]

都市整備局都市基盤部長（座長）

本日付でこの要綱を決定する。

[検討内容について事務局より説明（資料2）]

流域下水道本部技術部長

各市が単独で整備をする場合、空堀川に接していない立川市は貯留が前提となるのか。

[事務局]

貯留や浸透など、様々な手法を検討し、総合的に判断していきたい。

都市整備局都市基盤部長（座長）

どの範囲で公共下水道と流域下水道の比較検討をするのか。

[事務局]

空堀川右岸の範囲内で比較検討する。

武蔵村山市建設管理担当部長

資料2に記載がある「財源の内訳」とは、具体的にどういうことか。

[事務局]

総事業費における公共と流域の負担割合を示している。

立川市環境下水道部長

広域整備を行う際の優先順位はどのように考えているか。

[事務局]

検討対象流域全体で50ミリに対応できる施設を計画の上、段階的整備の検討を行うが、優先順位を考えるに当たり、被害状況や費用対効果等を踏まえて各委員と協議の上、決めていこうと考えている。

立川市環境下水道部長

シミュレーション実施の際には、立川市側に水が流れ込んでくる状況を再現する、という認識でよいか。

[事務局]

地形条件を反映したシミュレーションを行う。

武蔵村山市建設管理担当部長

流域下水道として整備した場合、その施設の維持管理は誰が行うのか。

[事務局]

流域下水道として整備した場合、流域雨水幹線は、流域下水道本部が維持管理を行い、これに接続する雨水管渠は、公共下水道管理者が維持管理を行う。

[今後のスケジュールについて事務局より説明（資料3）]

立川市環境下水道部長

第一回幹事会までの検討内容及び、市からの情報提供が必要な時期はどのように考えているか。

[事務局]

第一回幹事会では、市からの提供情報や現地調査を基に現状を把握し、シミュレーションモデルの構築及び実施結果などについて情報提供する。現状を把握した上で、第二回幹事会で、整備手法を提案したいと考えている。

現状把握やモデル作成の際、市が管理する既設管の状況など資料が必要となるので事前に用意願いたい。また、提出時期は事務局から連絡する。

東大和市都市建設部長

シミュレーションによる検討の際にはどのような降雨波形を使用するのか。

[事務局]

下水道施設設計指針に基づき作成する、時間 50 ミリの中央集中型降雨波形を用いて解析を行う。

「空堀川流域広域雨水整備検討協議会」

第一回協議会 出席者名簿

所 属	
都市整備局	都市基盤部長【座長】
下水道局	流域下水道本部技術部長
立川市	環境下水道部長
東大和市	都市建設部長
武蔵村山市	建設管理担当部長